

SeeSnake[®] DVD *Pack 2*



⚠ 警告!

本機を使用する前に、取扱説明書をよくお読みください。取扱説明書の内容を理解せずに使用すると、感電や火災、大けがを負う場合があります。

SeeSnake	
シリアル番号	

目次

安全に関する注意	3
一般安全ルール	3
作業エリアの安全性.....	3
電気安全性.....	3
個人の安全.....	3
設備使用と取扱い.....	3
バッテリーの使用と取扱い.....	4
サービス.....	4
具体的な安全情報	4
DVDPak2 の安全事項.....	4
詳細、仕様、標準設備	5
詳細.....	5
仕様.....	5
標準設備.....	5
DVDPak2 構成部分	6
キーパッドとアイコンの凡例.....	6
操作前の検査	7
作業エリアと設備セットアップ	8
DVDPak2設置.....	8
DVDPak2を接続する.....	8
DVDPak2の電源をオンにする.....	9
操作方法	10
DVDPak2の使用を開始する.....	10
モニターとDVDRをオンにしてください.....	11
モニターとDVDRをオフにしてください.....	11
DVDPak2の設定.....	11
検査を録画する.....	12
録画ビデオの再生.....	13
ゾンデを使用してカメラの位置検出.....	13
メンテナンス方法	14
クリーニング.....	14
付属品	14
運搬と保管	14
サービスと修理	14
廃棄	14
バッテリーの廃棄.....	15
DVDPak2 トラブルシューティング	15

安全に関する注意

取扱説明書と製品本体には、安全に関する重要な内容を伝えるために記号や表示が使用されています。ここでは、これらの記号や表示をよりよく理解してもらうための説明を記載しています。



この記号は、安全に関する警告記号です。けがを負う危険があることを警告しています。けがや死亡につながる危険を避けるため、この記号が記載された文章に従ってください。



危険 この表示は、危険を示します。記載内容を無視すると、死亡または大けがを負うことがあります。



警告 この表示は、警告を示します。記載内容を無視すると、死亡または大けがを負う可能性があります。

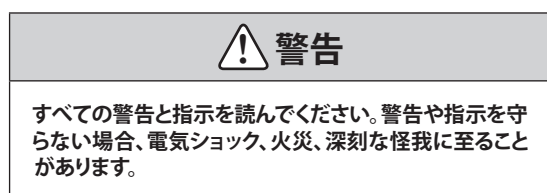


注意 この表示は、注意を示します。記載内容を無視すると、軽度または中度のけがを負う可能性があります。



注意 この表示は、ものの保護に関する事項が記載されていることを示しています。

一般安全ルール



この指示を保存してください!

作業エリアの安全性

- 作業場所は常に清潔で明るくしてください。物が散乱していたり、暗い場所での作業は事故につながります。
- 可燃性の液体や気体、粉塵などで爆発の危険がある環境で機器を使用しないでください。機器から出た火花が埃や煙に引火することがあります。
- 機器の使用中は、子供や部外者を近寄らせないでください。注意散漫になると、機械の操作を誤ることがあります。

電気安全性

- パイプ、ラジエーター、コンロ、冷蔵庫などの接地表面と身体が接触しないようにしてください。身体が接地すると感電する危険が高まります。
- 機器を雨にさらしたり、濡らしたりしないでください。機器内部に水が入り込むと、感電する危険が高まります。
- コードは丁寧に扱ってください。コードを引っ張って機器を移動したり、電源を切ったりしないでください。熱や油、鋭い刃、可動部の近くにコードを近づけないでください。コードが損傷していたり、ねじれていたりすると、感電する危険が高まります。
- 湿度の高い場所での機器使用が避けられない場合は、漏電遮断器(GFCI)で保護された電源を使用してください。GFCIを使用すると、感電の危険を減らすことができます。

- 各電器接続部分は乾燥した状態にし、地面から離してください。濡れた手で機器やプラグに触れないでください。濡れた手で触れると感電する危険が高まります。

個人の安全

- 常に作業に集中し、常識的な判断力をもって機器を操作してください。疲労や薬物やアルコールや医薬品の影響を受けた状態で機器を操作しないでください。操作中に注意力が落ちると、重傷を負う原因につながります。
- 保護具を使用してください。常に保護めがねを使用してください。防塵マスク、安全靴、ヘルメット、耳栓など、保護具の使用によって、けがをする危険を軽減できます。
- 無理な姿勢で作業をしないでください。作業は常に足元を安定させ、バランスを保ちながら行ってください。バランスのよい姿勢で操作すると、予期しない状況においても機器をうまく制御できます。
- 適切な衣服を着用してください。緩めの衣服、またはアクセサリーの着用はおやめください。髪、衣服、手袋を作動中の部品から遠ざけてください。緩めの衣服、アクセサリー、長い髪は可動部品に巻き込まれることがあります。

設備使用と取扱い

- 機器に無理な力をかけないでください。必ず用途に合った機器を使用してください。用途に合った機器を正しく使用すると、作業が安全に、またスムーズに行えます。
- 電気スイッチによるON/OFF切り替えができない状態で機器を使用しないでください。スイッチ制御ができない機器は危険です。必ず修理を行ってください。
- 調整作業や付属品の交換、また機器を保管する場合は、電気プラグやバッテリーパックを外してください。このような予防措置を講じることで、けがをする危険を軽減することができます。

- 使用中ではない機器は子供の手の届かない場所に保管し、機器の取扱いに詳しくない人に操作をさせないでください。取扱い方法を知らずに機器を操作すると危険です。
- 機器の保守点検を実施してください。可動部品が位置ずれていたり、動かなくなっていないか、なくなっていたり損傷のある部品はないかなど、機器操作に影響するおそれのある状態がないか確認してください。損傷が見つかった場合は、必ず修理してから機器を使用してください。事故の多くは、しっかり保守点検が行われていない機器を使用したことが原因で発生します。
- 機器や付属品は、作業の条件や内容を考慮し、また記載の指示に従って使用してください。用途以外の目的に機器を使用すると危険です。
- 付属品は機器メーカーが推奨するものだけを使用してください。付属品の用途はそれぞれ異なります。機器に適合した付属品を選んでください。
- 取っ手部分は乾燥した状態に保ち、油分が付かないようにしてください。そうすることで機器をしっかりと制御することができます。

バッテリーの使用と取扱い



警告

バッテリー充電器の詳細については、取扱説明書をお読みください。以下の内容を無視すると、感電や火災が発生したり、重傷を負う場合があります。

- 機器メーカーが指定する充電器のみを使用してください。特定の電池用の充電器を別のバッテリーパックに使用すると火災の危険性があります。
- 機器を使用する際は、指定のバッテリーパックのみを使用してください。他のバッテリーパックを使用すると怪我や火災につながる危険性があります。
- 伝導性のある物を使ってバッテリーの精査を行わないでください。バッテリー端末装置がショートすると、火花やけと、感電の原因となります。バッテリー端末装置を使用していない時は、クリップ、小銭、鍵、釘やネジ、端末装置同士をつなげることができるその他の金属に近づけないようにし、てください。バッテリー端末装置が同時にショートすると、火傷や火事につながる恐れがあります。
- バッテリーを乱暴に扱おうと、液体が漏れる可能性があります。その場合は液体に触れないようにしてください。万が一液体に触れた場合は、水でよく洗い流してください。液体が目に入ってしまった場合は、早急に医師に相談してください。バッテリーからの液体は、肌を刺激したり火傷の原因となります。

- 市販のバッテリーや充電器は、湿気のない適温の場所で使い、保管してください。高温または低温、湿気のある場所でバッテリーを使用す、保管すると、液漏れや感電、火傷につながる危険性があります。充電器の使用説明書で詳細をお読みください。
- 充電器の使用中はカバーをしなさいでください。正しく作動するには、適度な換気が必要です。使用中に充電器をカバーすると、火事につながる危険性があります。
- バッテリーは正しい方法で廃棄してください。バッテリーは高温にさらされると破裂の原因になります。廃棄の際には燃やさないでください。バッテリーの廃棄については、国の規制に従ってください。適する規制にはすべて従ってください。

サービス

機器の保守点検は適格者が行い、部品は必ず同一部品で交換してください。下記の場合は、電池を外し、適格者に点検、修理を依頼してください。

- 製品の上に液体が飛び散った、あるいは物体が落下した場合。
- 操作指示に従っているのに、製品が正常に動作しない場合。
- 製品が落下、または損傷を負った場合。
- 製品の性能に明らかな変化がある場合。

具体的な安全情報



警告

本章はDVD Pak2の具体的な安全情報を含みます。電気ショック、火災、その他の深刻な怪我を避けるためにはDVD Pak2のご使用前にこれらの予防策を注意深くお読みください。

この指示を保存してください!

作業者が参照できるように、取扱説明書は本機と共に保管してください。

DVD Pak2 の安全事項

- 正しく接地されていない電源コンセントを使用すると、感電や機器破損のおそれがあります。作業場所には必ず正しく設置された電源コンセントを用意してください。三叉コンセントやGFCIを使用しても、正しく接地されていない場合があります。接地について疑問がある場合は、適格者による確認を行ってください。
- 作業人や DVD Pak2 が水に触れている状態で操作を行わないでください。水中でDVD Pak2を使用すると、感電につながるリスクが大きくなります。

- **高電圧が存在する環境で機器を使用しないでください。** 本機は高電圧に対する保護や絶縁に対応していません。
- **DVDPak2を操作する前に、本取扱説明書、リール操作の説明書、また他の使用機器に関する指示をよく理解してください。** 指示に従わないで操作を行うと、作業場所周辺の損傷や重傷につながるおそれがあります。
- **排水管内での機器操作は、必ず正しい防護具を使用し行ってください。** 排水管は化学物質やバクテリア、その他有害物質などの感染症を引き起こす物質を含んでいる場合があります。やけどやその他の問題の原因となります。防護具には、必ず必要な保護メガネの他、排水管清掃用グローブ、ゴム手袋、フェースシールド、ゴーグル、防護服、レスピレーター、安全靴などがあります。
- **排水管検査機と同時に排水管清掃機を操作する場合は、必ずRIDGID排水管清掃機用の専用グローブを使用してください。** 清掃ケーブルにからまったり、手をけがする原因となりますので、専用グローブ以外の手袋や布切れなどで回転しているケーブルをつかまないでください。RIDGID排水清掃機用の専用グローブの下には、ゴム手袋を着用してください。また、損傷のある清掃機用グローブは使用しないでください。
- **衛生状態を良好に保ってください。** 排水検査機器の使用後の手洗いや管内の内容物に触れた体の部分の洗浄は、せっけんと温水で行ってください。内容物は毒性や感染性がある場合があります。汚染防止のため、検査器取扱い中の食事や喫煙はやめてください。

本取扱説明書に記載されている注意、警告、指示事項に、起こりうるすべての条件・状態が含まれているわけではありません。本機器を使用するにあたって、作業員自身が良識や注意といった要因を考慮する必要があります。

EC適合宣言書(890-011-320.10) は、必要に応じて本取扱説明書に添付されます。RIDGID製品に関して質問がありましたら、

- お近くのRIDGID販売店にお問い合わせください。
- www.RIDGID.com または www.RIDGID.eu にて、お近くのRIDGIDの連絡先をご覧になれます。
- RIDGID 技術サービス部へのお問い合わせは、rttechservices@emerson.com まで、米国・カナダ国内からは800-519-3456まで、お問い合わせください。

詳細、仕様、標準設備

詳細

DVDPak2はSeeSnake/パイプ検査システムと一緒に使うもので、頑丈、軽量、耐候性のあるカメラモニター、制御、録画機器です。Sony VRD-MC6 デジタルビデオディスクレコーダー(DVDR)、DVDPak2 は、便利なDVDフォーマットで監視、録画、保存ができます。

DVDPak2はSeeSnakeリールとカメラに簡単に接続でき、カメラからの映像を監視したり、録画ができます。DVDPak2の 5.7 in [14.5 cm] LCDモニターは、DVDRなしでも検査を見ることができます。

仕様

表1 SeeSnake DVDPak2 の仕様	
重量:	
バッテリー無し	8 lb [3.63 kg]
閉じた状態の寸法:	
長さ	15.85 in [40.25 cm]
幅	9.12 in [23.16 cm]
高さ	5.52 in [14.02 cm]
LCD 画面:	
画質	320 × 240 ピクセル
モニターのサイズ	5.7 in [14.5 cm]
コントラスト比率	350:1
明るさ	500 Cd/m ²
電力源	100 — 240 VAC/50 — 60Hz, 1.5 A or 18 V リチウム電池
電力定格	14 — 16 VDC, 40 W
バッテリーの種類	18Vリチウム電池1本
操作環境:	
温度(DVDR)	5°F to 95°F [−15°C to 35°C]
温度(モニター)	−4°F to 158°F [−20°C to 70°C]
湿度	5% RH to 95% RH
高度	13,120 ft [4,000 m]

標準設備

- Sony VRD-MC6 DVDR付きのDVDPak2
- 取扱説明書
- 取扱者向け DVD
- 100 – 240 VAC から 15 VDC への電源コンバーターおよびサプライ
- RCA ケーブル
- Sony VRD-MC6 DVDR 取扱説明書

DVDPak2 構成部分



図 1 - DVDPak2 構成部分



図 3 - DVDR ボタンコントロール

キーパッドとアイコンの凡例

表2 DVDR ボタンコントロール		
アイコン	名前	機能
●	戻る ボタン	DVDR メニューを表示する
⏻	電源ボタン	DVDPak2のオン・オフにして、画面の電源をコントロールする。
⏸	録画ボタン	DVDRの録画をスタートして一時停止する
⬅➡	矢印ボタン	メニュー選択をハイライトにする
⏎	実行ボタン	ハイライト部分のメニューオプションを選択する
⏹	停止ボタン	録画を停止または再生する
⏏	取り出しボタン	ディスクトレイを開く

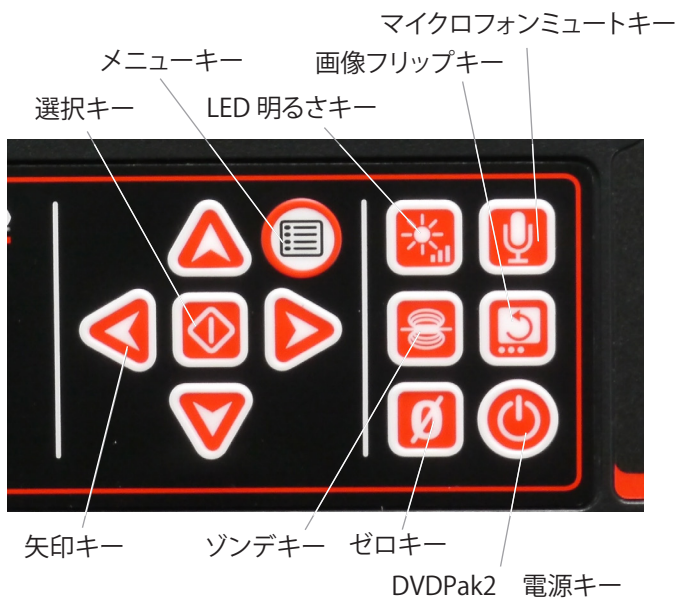


図 2 - DVDPak2 キーパッド

表3
DVDPak2 キー









アイコン	名前	機能
	電源キー	DVDPak2 モニターの電源をオンとオフにする。DVDRの電源をコントロールしません。
	選択キー	メニューアイテムの選択に使用します。
	矢印キー	メニューや画面の移動に使用します。
	メニューキー	モニター表示のオプションを表示する
	LED 明るさキ	カメラのLEDの明るさを調整します。押しながら明るさを上下させるか、一度押して上向きと下向き矢印キーを使っているいろいろな明るさレベルを試せます。
	ゾンデキー	ゾンデのオンとオフを切り替えます。
	ゼロキー	ゼロキーを一度押して、中間測定の一時的な相対ゼロポイントをリセットします。相対ゼロがカッコ内に表示されます。相対ゼロを停止して実際のカウントに戻すためには、ゼロキーをもう一度押します。ハードリセットを実行するにはゼロキーを押し続けてください。
	マイクミュートキー	マイクのオンとオフを切り替えます。オンにするとマイクミュートキーのLEDが金色になります。
	画像フリップキー	モニター上の映像を逆さにしますが、DVDRで録画した映像に影響はありません。

表4
DVDPak2 画面アイコン

アイコン	名前	機能
	バッテリーレベル	バッテリーの充電状態を表示する
	マイクオフ	マイクがミュート状態であることを表示する
	ゾンデ	ゾンデがオンであることを表示する
	明るさコントロール	モニターの明るさが調整中に表示される

操作前の検査

警告

電気ショックやその他から起こる怪我のリスクを低減し、機械の損害を予防するために、使用前にDVDPak2を点検してください。

1. 電源がオフになっているか、外部の電源およびコードが外れているか、バッテリーが除去されているかを確認してください。コード、ケーブル、コネクタに損傷または変化がないかを確認してください。
2. DVDPak2に付着している汚れ、油分、その他の不純物をきれいにするか、または検査がしやすく、また持ち運びや使用する際に手のすべりを防ぎます。
3. DVDPak2を検査して、安全・正常な使用に支障をきたすような故障、破損、紛失、不良、接着あと、その他の異常が見られる部品がないか確認してください。
4. 取扱説明書に従って使用中の各機器を確認し、良好で使用に適する状態かどうかを確認してください。
5. 問題が発覚した場合は、解決するまで使用しないでください。

作業エリアと設備セットアップ

警告

電気ショック、火災、重大な怪我、その他の問題による怪我のリスクを低減し、DVDPak2の損害を予防するために、手順に従ってDVDPak2を作業エリアにセットアップしてください。

ゴミや異物から目を保護するために、常に安全メガネを着用してください。

- 下記に関して作業場所を確認します。
 - 十分な明るさがあること。
 - 引火性の液体、蒸気、または埃がないこと。 もしあれば、取り除くまでその場所で作業しないでください。 DVDPak2は耐爆性がありません。 電気を接続することによって火花を発生させる危険があります。
 - 作業者は、水気や障害物がない平らな場所で使用してください。 水に触れたままで、本機を操作しないでください。
 - 外部からの電源を使用する際は、電気差込口までの通路での障害物をなくし、損傷につながる危険性のないように電気コードを使用してください。
- 作業内容を確認して、作業に適したRIDGID機器を決めてください。 用途に適していない機器を使用すると、怪我や機器の損傷につながる恐れがあります。 RIDGID検査機器の全リストは、www.ridgid.com もしくは www.ridgid.eu にてリッジツールカタログを参照してください。
- 取扱説明書の指示にしたがって、機器を検査してください。
- 作業エリアを評価し、必要であれば通行人を遮るための仕切りを立ててください。 部外者によって作業者が作業に集中できなくなることがあります。 また、道路付近での作業にはセーフティコーンなどを設置して、通行する運転者に作業中であることを知らせてください。
- アクセスできない場合は、必要に応じて洗面台やシンクの蛇口を取り外してください。

DVDPak2設置

DVDPak2のモニターと日除けを開けてください。 検査の際には、アクセスしやすい、作動中のカメラが見やすい、ケーブルが押しやすいポジションにDVDPak2を配置してください。 感電や機器破損のリスクを少なくするため、乾いた場所を選んでください。 DVDPak2およびその他の機器が濡れないようにしてください。 DVDPak2は耐水性がないため、水気にさらすと感電や機器破損につながる恐れがあります。

取扱説明書に従って、カメラとリールを配置してください。 DVDPak2とケーブルリールが安定しているか確認してください。

DVDPak2を接続する

SeeSnakeシステムケーブル

SeeSnakeシステムケーブルをDVDPak2の裏の該当コネクタに差し込んでください。 コネクタを接合するには、ガイドピンをガイドソケットに合わせ、コネクタを真っすぐに押し、外側のロックングスリーブをしっかりと締めてください。 ケーブルコネクタ上部のガイドリッジはプラグが正確に合えば上向きになります (図4を参照)。



図 4 - SeeSnakeシステムケーブルをDVDPak2に接続する


表5
DVDPak2 接続


アイコン	名前
	SeeSnake システムコネクタ
	ビデオ・イン・ポート
	A/V アウト・ポート
	発信機クリップオンターミナル
	DVDPak2 パワーポート
	DVDR-専用 パワーポート



図 5 - DVDPak2接続

外部のモニターオプション

DVDPak2を外部のSeeSnakeモニターと一緒にお使いになる場合は、付属のRCA ケーブルでモニターをビデオ・インプットポート  につないでください。ポートはDVDPak2の裏側に位置しています。(図 5 項目 1)。

A/V アウトポート  は、他のDVDRまたはモニターにライブ映像と音声をとばします。スピーカー付のモニターに接続された場合、マイクのミュートによるフィードバック妨害が起きる可能性がありますので注意してください。

A/V アウトポート は、他のDVDRからの録画映像と音声を送信しません。

DVDPak2の電源をオンにする

DVDPak2は、RIDGID 18 V リチウムバッテリーまたは、付属のAC/DC変換器を使って電源を入れることができます。感電の危険性を減らすために、できるだけバッテリー電源をお使いください。変換器は屋外での使用に適していません。変換器を使用する際は、DVDPak2を屋内でのみお使いください。

バッテリー電源

乾いた手で、充電済みRIDGID 18 V リチウム電池を、DVDPak2の裏側にあるバッテリードックにスライドさせてください。



図 6 - インストールされたバッテリー

バッテリーがドックにロックするように確認してください。バッテリー充電器の詳細については、取扱説明書をお読みください。

DVDPak2の電源はRIDGID 18 V リチウム電池を使ってオンにできます。 2.2Ah定格の充電済みバッテリーを使うと、DVDPak2を通常2.5時間から3時間使用できます。実際のバッテリー使用時間はバッテリーの蓄電池容量や使用方法によって異なります。

DVDPak2 がオンでバッテリーがドックに入っている場合、DVDPak2のモニターのちょうつがいの下にあるバッテリーインジケータLED (図 7 項目 1)が表6のようにバッテリー状態を反映します。

表6 DVDPak2 接続		
バッテリー状態	外部からの電源が接続されていません	外部からの電源が接続されています
充満	緑	緑の点滅
中	緑と赤	緑と赤の点滅
低	赤、信号音4回	赤の点滅
切れた状態	赤が5秒間、信号音が5回、で停止	—

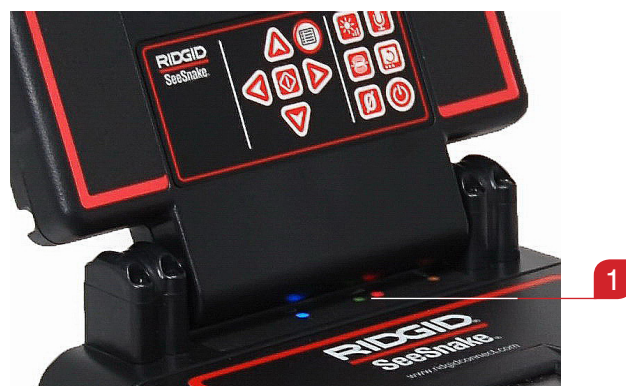



図 7 - バッテリーの状態を示すLED

電気差込口の電源

AC/DC電源付属品でDVDPak2に電源を入れるには、次の指示に従ってください。

1. 電源付属品に電気コードを差し込んでください。
2. 電源付属品をDVDPak2の裏側にある40 W の電源差込口  に差し込んでください。
3. 標準の差込口に電気コードを差し込んでください。

延長コードを使用する場合は、適切なワイヤゲージをお使いください。コードは長さ25 ft [7.6 m] 以下で、ワイヤゲージが少なくとも18 AWG のものをお使いください。コードが長さ25 ft [7.6 m] 以上の場合は、ワイヤゲージが少なくとも16 AWG のものをお使いください。

重要: 感電のリスクを少なくするため、外部の電源付属品は屋内でのみ使用し、常に乾いた手で電気機器に接続してください。

操作方法

警告

ゴミや異物から目を保護するために、常に安全メガネを着用してください。


危険な化学物質やバクテリアを含む排水管を検査する時はラテックス手袋、ゴーグル、フェイスシールド、マスク等の適切な保護具を着用し、やけどや感染を予防してください。


オペレーターや機械が水に触れている時は、本体を操作しないでください。水の中での機械の操作は電気ショックのリスクを高めます。濡れた表面でゴム底の滑り止めの靴を履くと、スリップや電気ショックを予防します。

電気ショックやその他の原因で怪我をするリスクを低減するためには以下を行ってください。

DVDPak2の使用を開始する

DVDPak2の使用を開始する前に、次の事を行ってください。

1. 本体が適切に設定されているかを確認してください。
2. SeeSnakeカメラに DVDPak2 を接続するか、付属のRCAケーブルを使って外部のSeeSnakeモニターにDVDPak2を接続してください。
3. SeeSnakeカメラヘッドをSeeSnakeリールのガイドフープに設置してください。
4. DVDPak2 の電源ボタン 。
5. を押してオンにしてください。DVDがディスクトレイに

すでに入っている場合は、DVDPak2がディスクチェックを行います。DVDがDVDPak2に入っていない場合、ディスクトレイのフロントカバーを上げて、取り出しボタン  を押してトレイを開けてください。未使用のDVDRまたはDVDRWディスクをトレイに入れ、ディスクトレイを手動で押して閉めてください。(図 8を参照)


6. フロントカバーを閉じて、ホコリや湿気から保護してください。
7. DVDPak2に初期化されていないディスクが入っている場合、初期化するよう表示が出たら、戻るボタン  を押してディスクの初期化を行ってください。DVDPak2は、初期化されていないディスクに録画しません。



図 8 – ディスクトレイ


初期化されたディスクをDVDPak2に入れた場合、カメラからの映像はDVDR画面とDVDPak2のモニター上に表示されます。(図 9を参照)。カメラの映像が表示されない場合、11ページに記されているようにビデオ表示設定を変更してください。




図 9 – DVDR画面のカメラ画像


モニターとDVDRをオンにしてください

電源ボタン  を押して、DVDRとDVDPak2のモニターをオンにしてください。

DVDPak2のモニターのみをオンにするには、電源キーキー  を押してください。DVDPak2のモニターのみを使用すると、DVDRがオンにならない為、バッテリーを節電できます。

モニターとDVDRをオフにしてください







モニターとDVDRが同時にオンになっている場合は、電源ボタン  を押して、モニターとDVDRを両方オフにします。

モニターのみを使っている場合は、キーパッド上の電源キー  を押してモニターをオフにしてください。

DVDPak2の設定










ビデオの表示設定



DVDPak2モニター上に映像が表示されない場合、次の事を行ってください。

1. 戻るボタン  を押して、DVDRのメインメニューにアクセスしてください。現在のメニュー位置によって異なりますが、DVDRのメインメニューにアクセスするには戻るボタン  を何度か押す必要があります。
2. 上下の矢印ボタン  を使って“ビデオ → DVD”をハイライトにし、実行ボタン  を押してください。
3. 上下の矢印ボタン  を使って、“ビデオ・イン”をハイライトにしてを押してください 。

自動チャプター設定












自動チャプター設定がオフになっている場合、録画をポーズさせる度にDVDRが新しいチャプターを開始します。自動チャプター設定をオフにしたい場合、次の事を行ってください。

1. 戻るボタン  を押して、DVDRのメインメニューにアクセスしてください。現在のメニュー位置によって異なりますが、DVDRのメインメニューにアクセスするには戻るボタン  を何度か押す必要があります。
2. 上下の矢印ボタン  を使って、“設定”をハイライトにし、実行ボタン  を押してください。
3. 上下の矢印ボタン  を使って、“自動チャプター”をハイライトにして実行ボタン  を押してください。 
4. 上下の矢印ボタン  を使って、“オフ”をハイライトにし、実行ボタン  を押してください。

その他の方法として、自動チャプターを設定し、新しいチャプターの録画を5分、10分、15分ごとに開始できます。上下の矢印ボタン  を使って、自動チャプターメニューの時間間隔をハイライトにして、実行ボタン  を押してください。 .

NTSC/PAL ビデオ設定





DVDPak2はNTSCとPALビデオ設定をサポートします。DVDPak2は、ディスクフォーマットとビデオ設定が一致しない場合、録画ができません。次の事を行ってビデオ設定を変えてください。

1. 戻るボタン  を押して、DVDRのメインメニューにアクセスしてください。現在のメニュー位置によって異なりますが、DVDRのメインメニューにアクセスするには戻るボタン  を何度か押す必要があります。
2. 上下の矢印ボタン  を使って、“設定”をハイライトにし、実行ボタン  を押してください。 
3. 上下の矢印ボタン  を使って、“カラーシステム”をハイライトにして、実行ボタン  を押してください。 
4. 上下の矢印ボタン  を使って、PALまたはNTSCをハイライトにし、実行ボタン  を押してください。 

本体の設定





カウントプラス (CountPlus) ケーブル測定システムが付いているSeeSnakeリールに接続すると、DVDPak2がメートルかフィート法で距離を表示します。設定が“自動”の場合は、DVDRPak2はケーブル測定単位をPALが設定されている場合、メートル法で、NTSCが設定されている場合はフィート法で表示します。

測定単位を変えるためには 次の事を行ってビデオ設定を変えてください。





1. メニューキーを押してください 。
2. 左右の矢印キー  を使って「単位」をハイライトにし、選択キー  を押し、「フィート」、「メートル」、「自動」を切り替えてください。
3. メニューキー  を押して、メニューを閉じてください。



カラー、コントラスト、明るさの設定

DVDPak2のカメラで見るときの、カラー、コントラスト、明るさの設定を調整するには、次の事を行ってください：






1. メニューキーを押してください 。
2. 上下の矢印キー  を使って、“カラー”、“コントラスト”、“明るさ”のいずれかをハイライトにし、左右矢印キー  で調整を行ってください。画面に状態バーが表示され、カラーの調整を見ることができます。
3. メニューキー  を押してメニューを閉じてください。

カメラLED明るさ設定


カメラヘッドのLEDの明るさは、明るさキー  を押して左右矢印キー   で調節してください。メニューキー  を押して、メニューを閉じてください。

その他の方法として、明るさキー  を数回押して、カメラヘッドのLEDの明るさをまず増やして、それから減らしてください。 




ゼロ・ポイント設定

カウントプラス (CountPlus) の付いたSeeSnakeリールを使用する場合、ケーブル測定値はDVDPak2のモニター上に表示されます。カウントプラス (CountPlus) の使用中にゼロ・ポイントを設定する場合、ゼロキー  を押してください。  DVDPak2はカッコ内に使用中に設定したゼロ・ポイントからの距離を表示します。ゼロキー  を押してローカルゼロにし、もう一度ゼロキー  を押してグローバルカウントに戻ってください。ゼロキー  を押し続け、ハードリセットを行ってください。

画像の回転

検査中は、カメラをライン内で回転させることができます。DVDPak2モニター上で見えるカメラ映像を回転させるには、画像フリップキー  を押して、画像を逆さに回転させてください。DVDPak2モニターで画像を回転させる場合、DVDPak2は最初に表示された画像を録画します。



マイクのミュート




DVDPak2の画面の左下にマイクがあり、マイクアイコンで表示されています 。DVDPak2のマイクはオンに設定されています。マイクをオフにするには、マイクミュートキー  を押してください。マイクがオフになっている場合、マイクミュートアイコン  が画面に表示されます。マイクがオンになっている場合、DVDPak2のちょうつがいの下にあるマイクミュートLEDが点きます。

検査を録画する

重要:DVDPak2を録画中に動かすと、ディスクに傷が付いたり、DVD再生ができなくなる可能性があります。DVDPak2の電源が突然切れた場合、保存されていないチャプターは消えます。

DVDPak2で検査を録画するには、次の事を行ってください:

1. DVDRまたはDVDRWのディスクをDVDPak2に入れてください
2. DVDRの録画ボタン  を押してください。DVDRの画面が、“録画中”、また経過時間を表示します。録画中は、録画ボタン  のまわりが赤になります。

3. 録画ボタン  を押して、録画を一時停止または再開してください。
4. 停止ボタン  を押して、録画を止めてください。停止ボタン  を押した後、少し経ってから、現在のディスクの残りの録画時間がDVDR画面に表示されます。

ディスクの最終処理を行う

DVDプレーヤーで再生をするには、ディスクの最終処理を行う必要があります。DVDRWなどの書き換え可能なディスクをお使いでない限り、最終処理した後にディスクに録画することはできません。

ディスクの最終処理を行うには、次の事を行ってください:









1. 戻るボタン  を押して、メインメニューに戻ってください。現在のメニュー位置によって異なりますが、DVDRのメインメニューにアクセスするには戻るボタン  を何度か押す必要があります。
2. 下矢印ボタン  を使って、“設定”をハイライトにし、実行ボタン  を押してください。
3. セットアップメニューから下矢印ボタン  を使って、“ディスクの最終処理”をハイライトし、実行ボタン  実行するよう指示が表示されたら。
4. 実行するよう指示が表示されたら、上矢印ボタン  を使って“はい”をハイライトし、ディスクの最終処理を確認してください。(図 10を参照)。最終処理をキャンセルするには、実行ボタン  を押してセットアップメニューに戻ってください。



図 10 - ディスクの最終処理

録画ビデオの再生

DVDPak2で録画したチャプターの再生を行うには、次の事を行ってください：

1. 戻るボタン ● を押して、メインメニューに戻ってください。DVDRのメインメニューにアクセスするには戻るボタン ● を何度か押す必要があります。
2. 下の矢印ボタン ↓ を使って“DVDプレビュー”をハイライトにし、実行ボタン □ を押してください。
3. ディスクが最終処理されていない場合、DVDR画面で最後に録画した映像が表示され、再生されます。
4. ディスクが最終処理されている場合、すでにディスクに録画されているチャプターであるサムネイルの一連が画面に表示されます。サムネイルをハイライトし、実行ボタン □ を押して再生を行ってください。

再生中には音声が出ませんが、DVDプレイヤーでディスクを再生する場合は聞こえます。

録画モードに戻るには、次の事を行ってください：

1. 戻るボタン ● を押してメインメニューに戻ってください。現在のメニュー位置によって異なりますが、DVDRのメインメニューにアクセスするには戻るボタン ● を何度か押す必要があります。
2. 上矢印ボタン ↑ を使って“ビデオ → DVD”をハイライトにし、実行ボタン □ を押してください。
3. 下矢印ボタン ↓ を使って、“ビデオ・イン”を選択して実行ボタン □ を押してください。

ゾンデを使用してカメラの位置検出

SeeSnake パイプ検査システムにはゾンデが付いており、512Hzを発信できます。ゾンデがオンの状態であれば、RIDGID SR-20、SR-60、Scout™、NaviTrack® II の探知器が512 Hzで探知し、地下のカメラ位置を確認することができます。

DVDPak2のゾンデキー  を押し、ゾンデをオン、オフにしてください。

ゾンデ探知は、プッシュケーブルを管内に1.5~3m挿入してから探知器を使用するのが効果的です。また、必要に応じて、プッシュケーブルをさらに同距離ほど挿入して前回の位置から、ゾンデを再探知することも可能です。ゾンデを探知するには、探知器の電源を入れ、ゾンデモードに設定してください。探知できるまで、ゾンデが位置すると思われる方向を走査します。

ゾンデを発見したら、位置探知表示を使い、正確な位置を特定してください。お使いの探知器でゾンデの位置を探知する手順に関する詳細は、取扱説明書を参照にしてください。

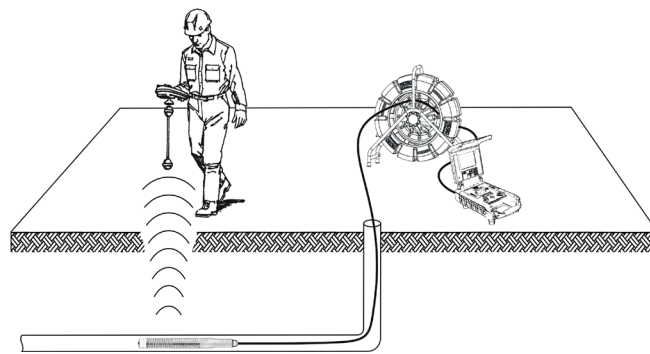


図 11 - ゾンデの位置を探知する

ライン発信機と探知器を同じ周波数に設定し、探知器を使ってラインを追跡してください（図 11参照）。カメラに内蔵のゾンデは同時に作動することができます。二重周波容量のSimulTrace™が付いている場合、探知器を使ってカメラの位置までプッシュケーブルを追跡できます。その後、地面に出る際にカメラのゾンデを探知してください。

SeeSnake プッシュケーブルのライン追跡

DVDPak2は、NaviTrack® II、Scout™、SR-20、SR-60などのRIDGID探知器を使って、地下のプッシュケーブルをライン追跡することができます。プッシュケーブルを追跡するには、杭に固定されたコネクタを持つライン発信機とトランスミッタークリップオンターミナルにくくりつけられたもう一つのコネクタを接続してください。

ライン発信機と探知器を同じ周波数に設定し、探知器を使ってラインを追跡してください。カメラに内蔵のゾンデは同時に作動することができます。二重周波容量のSimulTrace™が付いている場合、探知器を使ってカメラの位置までプッシュケーブルを追跡できます。その後、地面に出る際にカメラのゾンデを探知してください。

SimulTrace™機能が付いていない機を使用する場合、ライン発信機と探知器を使ってSeeSnakeプッシュケーブルをライン追跡してください。信号がなくなった場合は、探知器をゾンデモードにしてください。通常のインラインゾンデの周波数は512Hzです。インラインゾンデのライン追跡周波数が弱くなり始めゼロになった位置から信号をひろってください。発信機から周波を探す際にモニター上の画像が悪くなる場合がありますので、ライン内部の検査中はゾンデとライン発信機をオフにしてください。ゾンデとライン発信機は探知をする時のみオンにしてください。

メンテナンス方法

クリーニング



警告

深刻な怪我や機械の損害リスクを低減するために、これらの手順で設備の保守を行ってください。

電気ショックのリスクを避けるために、清掃前にすべてのコードやケーブルを取り外し、バッテリーを抜いてください。

DVDPak2に研磨剤や液体クリーナーを使わないでください。DVDPak2は湿らせた布で拭いてください。DVDPak2の画面を拭くには、LCD画面専用のクリーナーを使ってください。DVDPak2に液体がかからないようにしてください。

付属品



警告

以下のRIDGID 製品は、rDVDPak2と共に使用できるように設計されています。他のツールの使用に適するアクセサリでも、DVDPak2と使用すると危険なことがあります。深刻な怪我のリスクを避けるためにも、DVDPak2の使用に推奨されたアクセサリだけを使用するようにしてください。

- 18Vリチウム電池
- バッテリー充電器
- 充電式二重バッテリーキット
- 充電式単独バッテリーキット
- RIDGID シーテック または ナビトラック探知器
- RIDGID シーテック または ナビトラック発信機
- カウントプラス (CountPlus) ケーブルカウンターケーブル計測システムは、通常SeeSnake配管検査システムに付いています

運搬と保管

DVDPak2を屋内や水気のない場所に保管すると、感電のリスクが少なくなります。DVDPak2は、作業員以外の方やお子様の手の届かない施錠された場所に保管してください。DVDPak2を作業員以外が扱おうと、大きな怪我につながる恐れがあります。機器に強い衝撃を与えないように注意しながら移動させてください。

輸送または長期保管する場合には、事前にバッテリーを取り出してください。

DVDPak2は、周辺温度が5°F から95°F [−15°C から 35°C]

の場所で保管してください。本体をラジエータ、(ヒーターなどの)通風(調節)器、ストーブ、コンロ、その他の熱を発生する製品(増幅器を含む)から遠ざけてください。

サービスと修理



警告

不適切なサービスや修理はDVDPak2の操作を危険にします。

DVDPak2のサービスと修理は、RIDGID認定サービスセンターで行ってください。

お近くのRIDGID認定サービスセンター情報、点検、修理に関するご質問は販売店か下記へお電話頂くか、メールでご連絡ください。

- お近くのRIDGID販売店にお問い合わせください。
- 最寄のRidge お問い合わせ先については、www.RIDGID.com または www.RIDGID.eu をご覧ください。
- Ridge 技術サービス部門へのお問い合わせは rtctechservices@emerson.com、または米国・カナダ国内は 800-519-3456へご連絡ください。

日本エマソン株式会社リッジ事業部

〒105-0022

東京都港区海岸1-16-1

ニューピア竹芝サウスタワービル7F

TEL:(03)5403-8560 (代)

FAX:(03)5403-8569

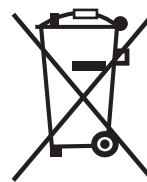
(祝祭日を除く月曜日から金曜日9:00 ~ 17:00)

メールアドレス: Ridgid@emerson.co.jp

<http://www.ridgid.jp>

廃棄

本体にはリサイクル資源としての価値がある部分が含まれています。お住まいの地域のリサイクル専門業者をご使用ください。部品の廃棄は法規を順守して行ってください。詳しい情報については、お近くの廃棄物処理会社に問い合わせてください。



欧州加盟国の場合：電気機器を家庭用廃棄物として捨てないでください。

欧州ガイドライン2002/96/ECの電気機器および電気製品の廃棄、国内で施行されている法律によると、不要となった電気機器は分類し環境的マナーを守って廃棄する必要があります。

バッテリーの廃棄



米国およびカナダ国内の場合：RBRC™（リチャージャブルバッテリーリサイクルコーポレーション）のシールは、バッテリーパック上で、RIDGIDがリチウム電池のリサイクル費用を支払い済みであることを表示しています。

RBRC™、RIDGID®およびバッテリー他業者は、米国およびカナダにおいて、充電式バッテリーの回収とリサイクルのプログラムを開発しています。普通または充電式バッテリーはリサイクル価値のある原料を含んでいる為、直接廃棄しないでください。お使いになったバッテリーは、自然保護や自然資源を節約する為、お近くの小売店またはRIDGIDサービスセンターにリサイクルとしてお持ちください。お近くのリサイクルセンターで、その他の回収場所をご確認ください。

RBRC™はリチャージャブルバッテリーリサイクルコーポレーションの商標マークです。

欧州加盟国の場合：不良または使用済みのバッテリーパック・バッテリーはガイドライン2006/66/ECに従ってリサイクルしてください。

表7
DVDPak2 トラブルシューティング

問題	考えられる欠陥の位置	解決法
カメラ映像が見えません	SeeSnake リールに電源が入っていません	電源が正しく接続されているか確認してください DVDPak2のスイッチを確認してください
	接続の欠陥	SeeSnakeの配置、設置、ピンの状態
	ビデオ表示のが間違っています	ビデオソースをビデオ表示設定セクションに示された通りに設定してください
	バッテリー不足	バッテリーを充電するか、DVDPak2を外部の電源付属品につなげてください。
バッテリー警告点滅中	バッテリー不足	バッテリーを充電するか、外部の電源付属品につなげてください。

保証や修理について

保証期間：

保証は製品のご購入日から1年間とします。また、ご購入時の領収書は大切に保存してください。保証修理時に必要となります。

保証の範囲：

本機器の製造上および、材料に欠陥があった場合のみ保証の対象となります。

保証の適用対象外の事項について：

誤用、濫用、通常の摩耗や亀裂による故障は、本保証の対象に含まれません。また、消耗品等の自然消耗、劣化などの理由による交換や修理は対象外となります。弊社は、本機器の故障、又はその使用によって生じた、付随的損害または間接的損害に対する一切の責任を負いません。各種アクセサリ類は消耗品等に含まれますので、交換や修理は保証の対象外となります。

保証対象：

製造または材料の欠陥以外の理由で本機器が使用不能になったときには、保証の適用は終了します。

保証や修理を受けるときには：

本機器をご購入いただいた販売店にお持ちください。または、運賃元払いにて弊社修理センターに発送してください。また、修理内容にかかわらず返送時の運賃はお客様のご負担となります。

保証や修理方法：

保証や修理対象の製品は、弊社の選択により、修理または交換して返送いたします。保証対象外の製品については、有償にて修理をいたします。

保証の適用について：

弊社に代わって、販売店、代理店などが本保証を変更したり、別の保証を提供したりすることはありません。

※ 本書記載内容については、製品の仕様変更などにより、予告なく変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

© 2015年 Ridge Tool Company。無断複写・複製・転載を禁じます。

この取扱説明書の情報が正確であることを保証するため、ありとあらゆる努力を重ねてきました。Ridge Tool Companyとその関係会社は、予告なしにこの取扱説明書に記載されているハードウェア、ソフトウェア、あるいはその両方の仕様を変更できる権利を保有しています。本製品に関する最新及び追加情報は下記のサイトでご覧になれます。

www.RIDGID.com 製品向上の結果、この取扱説明書にある写真、その他の(図などの)表示や説明と実際の製品に違いがあることがあります。

RIDGIDとRIDGIDロゴはアメリカ合衆国やその他の国で登録されているRidge Tool Companyの商標です。ここで言及されているその他全ての登録済み、未登録の商標やロゴに対する財産権はそれぞれの所有者が持っています。第3者の製品について言及している場合は、情報提供のみを目的としているもので、承認あるいは推奨しているものではありません。

We
Build
Reputations™

RIDGID


EMERSON
Commercial & Residential Solutions

EMERSON. CONSIDER IT SOLVED.™